

推進計画(案)

	実施事項	項目	QCサークル活動	備考・その他
4月	【役員会】 QCサークル活動強化宣言(キックオフ)	今後の流れの説明 ・研修の実施 ・全チーム中間報告会(指導会)の実施 ・成果発表会の実施 など		①なぜ、QCサークル活動を行うのか？ ②QCサークル活動を通じて何を求めるのか？ ③仕事とQCサークル活動の関係は？ ④活動名称について など ※①、②がとても重要です。なお、詳細については研修で講師から指導します。
	【全社会議】 QCサークル活動強化宣言(キックオフ)			
	教育①【研修】 ・管理者・推進者クラス1回 ・リーダー・メンバークラス1回			【教育内容(例)】 ①業務改善の必要性 ②小集団活動の概要・意義・有効性・運営 ③各層の役割 ④QC的ものの見方・考え方 ⑤問題解決の手順 ⑥QC手法 など
	事前提出	各チーム選定したテーマを事務局へ提出。事務局は、各チームのテーマをまとめ、日科技連へ提出。	QCサークル活動のチーム結成 活動スタート テーマ選定(問題抽出含む)	5～6名編成(例) リーダーなど役割を選定
5月			現状把握と目標の設定	
6月	教育【中間報告会①】	テーマ選定の説明、現状把握と目標の設定を説明(各チームから講師へ)		担当講師からの指摘・アドバイスを受け、現状把握と目標の設定の見直し・修正し、次の手順「要因解析」に入る
7月				
8月			要因解析(検証含む)	
9月	教育【中間報告会②】	前回のアドバイス修正ならびに要因解析を説明(各チームから講師へ)		担当講師からの指摘・アドバイスを受け、要因解析の見直し・修正し、次の手順「対策立案・検討・実施」に入る
10月				
11月			対策立案・検討・実施	
12月	教育【中間報告会③】	前回のアドバイス修正ならびに対策の検討と実施を説明(各チームから講師へ)		担当講師からの指摘・アドバイスを受け、対策の検討と実施を見直し・修正し、次の手順「効果の確認、標準化と管理の定着」に入る
1月				
2月				
3月	社内発表会	①発表チーム選定 ②運営・プログラムなどの検討 ③審査(評価)シート ④表彰(褒賞) ⑤会場・方法、その他 など ※大会準備は、早めに計画・実行	効果の確認 標準化と管理の定着(歯止め)、 改善成果の報告(提出)	講評者、講演者の活用 など ※講演会、中間報告会の担当講師が講評することも可能です。

※ 上記内容は、QCサークル活動強化計画(例)です。
貴社の経営計画、職場環境状況、文化・風土、活動・推進スタンス、予算・工数などに合わせて実施事項・項目・活動などの内容や時期をご調整いただく必要があります。

※ QCサークル活動を軌道に乗せるために導入年度から約3年は指導会の活用などをお勧めいたします。